

パブリックコメント手続の実施結果について

1 案件名

家庭系可燃ごみの戸別収集の方向性について

2 案件の概要

平塚市では、ごみの減量及び分別の徹底の更なる推進、自治会によるごみステーションの維持管理が困難になってきていることや老年人口の増加により今後ごみの排出が困難になる世帯が増加することが予想されることから、将来にわたって安定的な廃棄物行政の運営の確保に努めるため、市全域での可燃ごみ戸別収集を予定しています。

3 募集概要

(1) 意見の募集期間

令和2年11月6日(金)～令和2年12月7日(月)

(2) 意見の提出方法

持参、郵送、FAX、電子メール、神奈川県電子申請システム

4 実施結果

(1) 提出意見数

個人から	11 人	28 件
団体から	0 団体	0 件
合計	11	28 件

(2) 意見内訳

項目	件数 (件)
背景に関すること	5
福祉収集の拡充等に関すること	3
社会実験モデル地区居住世帯に対するアンケート調査に関すること	5
社会実験からの推計に関すること	4
排出方法の現状と課題に関すること	2
収集体制の方向性に関すること	3
今後の取組に関すること	6
合計	28

(3) 意見への対応区分

項目	説明	件数 (件)
ア：反映	意見を受けて計画案等を修正したもの	0
イ：反映済み	既に計画案等に記載されているもの又は既に対応しているもの	0
ウ：参考	取組を推進する上で参考とするもの	18
エ：その他	意見募集の範囲と異なるもの、反映が困難なもの、質問など	10
合計		28

5 意見対応表

番号	項目	市民意見の概要	市の考え方	対応区分
1	背景に関する こと	ごみ袋の有料化はぜひ早く実現してください。他市は早期に取組を開始しており、着実にごみの減量に繋がっています。(他同様の意見 1件)	本市では、家庭から排出されるごみ量が堅調に減少しており、モデル地区を対象とした社会実験の検証結果からも戸別収集を導入することで17%の減量効果を得られる可能性があることが分かりました。現段階において、ごみの排出抑制のために「ごみ袋の有料化」は考えておりませんが、排出量が増加した場合や環境負荷の軽減を目指した取組として今後も研究してまいります。	ウ 参考
2	背景に関する こと	ごみ袋の有料化は反対です。自治会の集積所には常に不法投棄が存在します。これが有料になった場合のことを考えますと、今まで以上に自治会役員の負担が増すことに対してすごく不安を感じます。	現段階において、ごみの排出抑制のために「ごみ袋の有料化」は考えておりませんが、排出量が増加した場合や環境負荷の軽減を目指した取組として引き続き研究してまいります。また、不法投棄対策につきましても、引き続き行ってまいります。	エ その他
3	背景に関する こと	戸別収集のコスト増に伴う費用負担は受け入れがたいです。	社会実験の検証から、市全域で戸別収集するためには、収集車両と作業員が不足するとの推計結果となっています。収集経費については、収集地区などを工夫しながら少ない経費で実施できるよう検討してまいります。	ウ 参考
4	背景に関する こと	収集を民間委託して雇用の創出をしてください。	本市のごみ収集業務は「平塚市行財政改革計画(2020-2023)」に基づく取組を進めており、戸別収集導入においても民間活力の活用を検討する必要があると考えております。	ウ 参考
5	福祉収集の拡充等に関する こと	福祉収集、ふれあい収集を充実・継続させていただきたい。(他同様の意見 1件)	ふれあい収集は、戸別収集エリア拡大に伴い制度移行していきます。福祉収集は、継続して実施していきます。	ウ 参考
6	福祉収集の拡充等に関する こと	マンションの高層階や、家の前までも出せない場合などで、玄関先まで取りに来てもらえるなら有料も考えられるのではないのでしょうか。	現制度下においても、本市の一般廃棄物収集運搬業者のうち上乘せ基準を満たした業者は、有料で回収を行っています。	ウ 参考

7	社会実験モデル地区居住世帯に対するアンケート調査に関すること	多層階の建物の場合は難しいですが、テラスハウスのような玄関が全て1階にあるタイプの集合住宅の場合は、戸別収集で良いのではないのでしょうか。	区画整理事業によって開発された分譲地や比較的大きなマンションやアパート等は、敷地内に専用のごみステーションを設置しているため、戸別収集の対象から除外しておりますが、そうした場所でも将来的に戸別収集のニーズが高まってくるのであれば、検討する必要があります。	ウ 参考
8	社会実験モデル地区居住世帯に対するアンケート調査に関すること	排出の方法はどのようにしたのですか。袋に入れて行ったのですか。バケツ等を使ったのですか。	動物被害対策やごみの散乱を防止する点から、なるべくポリバケツ等の容器の利用をお願いしておりましたが、排出方法については各世帯で判断いただきました。	エ その他
9	社会実験モデル地区居住世帯に対するアンケート調査に関すること	家の前がカラスや猫等に荒らされて汚れたり、交通の支障になったりはしなかったですか。	社会実験開始当初は、動物被害の報告もありましたが、各世帯でポリバケツ等を用意いただいた結果、交通に支障なく実施しております。	エ その他
10	社会実験モデル地区居住世帯に対するアンケート調査に関すること	排出場所は門扉の内側ですか外側ですか。	収集作業員は敷地内に入らず作業させていただきたいので、原則門扉の外側で分かりやすい場所にお出しくくださるようお願いいたしました。	エ その他
11	社会実験モデル地区居住世帯に対するアンケート調査に関すること	隣近所とのトラブルなどの報告はなかったですか。	アンケート調査で、戸別収集になって、近所付き合いはどうなったかをお聞きしたところ、90%を超える方から以前と変わらないと回答いただきました。個別意見もトラブル等は報告されておられません。	エ その他
12	社会実験からの推計に関すること	モデル地区とそれ以外の地区の同期間の排出量の比較で削減されたとしていますが、モデル地区での同期間の前年比でも削減されたのですか。	社会実験は、夕陽ヶ丘、立野町、大神の一部のエリアで行ったため、前年のデータがありません。排出量のデータについて、継続的に収集し分析してまいります。	エ その他
13	社会実験からの推計に関すること	ごみの収集事業者にアイデアを募集するというのは、いかがでしょうか。	ごみの収集を安全、確実、効率的に収集するアイデアについては、ごみの収集事業者だけでなく、市民等からも幅広く伺ってまいります。	ウ 参考

14	社会実験からの推計に関すること	家庭系可燃ごみの戸別収集の実現には、収集拠点から環境事業センターまでの往復回数を減らすことが大きなポイントと理解しました。そうであれば、最大積載量 2t の収集車両より、3.5t の収集車両を最大限活用することが大事と考えましたが、いかがでしょうか。	社会実験では、積載量の違う車両をパターン別に試走しています。試走から得られた「収集量」、「作業時間」等のデータと市内各地区の「面積」、「走行距離」から各地区の「作業時間」を算出しました。各地区の「収集量」と道幅等の地域特性を踏まえ、既存の収集車両を最大限に活用しつつ、「作業時間」内に効率よく積載するための車両の選択や、収集ルートの設定の工夫等が重要になると考えます。	ウ 参考
15	社会実験からの推計に関すること	現在の「月曜日・木曜日」「火曜日・金曜日」の 2 ブロックを、3 ブロックにするような方向での検討の可能性はあるでしょうか。	2ブロックから3ブロックに変更した場合、3ブロックの収集日は「水曜日・土曜日」が考えられます。現在本市では、大部分の地区で水曜日に「ペットボトル・プラクル」の収集を行っており、土曜日収集は行っておりません。3ブロック制を検討するにあたり、土曜日収集による人件費の増大等が考えられましたので、2ブロックでの収集方法で制度設計しております。	ウ 参考
16	排出方法の現状と課題に関すること	今まではゴミステーションにネットを掛けていたのが無くなり、カラスにごみが荒らされて道路が汚れたり汚臭がしたりしないでしょうか。特に高齢の方は袋を結ぶ力が弱く、ゴミ袋が上手く縛れずにごみが溢れたりしてしまわないでしょうか。	社会実験のモデル地区居住者に対するアンケート調査結果では、約 70%の方が戸別収集になって景観が良くなったと回答いただきました。また同アンケート調査結果では、カラス等の動物被害がポリバケツ等の容器を使用することで減少したとの意見が寄せられておりますので、ポリバケツ等の容器の利用を検討ください。	ウ 参考
17	排出方法の現状と課題に関すること	高齢化に伴いゴミステーションの維持管理が難しくなっております。家庭ごみの戸別収集は、地域にとって喫緊の課題であると考えます。	自治会によるゴミステーションの維持管理が困難になってきたことや超高齢社会を迎えるにあたり、ゴミステーションまでごみを運ぶことが困難な世帯が増加することが予想されるため、現行のごみステーション方式より負担の少ない排出方法に変更する必要があると考えます。	ウ 参考

18	収集体制の方向性に関する こと	「ごみステーション方式」から「戸別収集」に切り替える理由が、短絡的で根拠が乏しいです。	自治会によるごみステーションの維持管理が困難になってきたことや超高齢社会を迎えるにあたり、ごみステーションまでごみを運ぶことが困難な世帯が増加することが予想されるため、現行のごみステーション方式より負担の少ない排出方法に変更する必要があると考えます。	工 その他
19	収集体制の方向性に関する こと	「民間活力の活用」を検討する必要性について、何のために民間活用をするのか判断するための根拠が甚だしく乏しいです。	社会実験モデル地区居住世帯に対するアンケート調査結果からも戸別収集に対する期待値は高いものであるということが分かりました。戸別収集の実施にあたっては、社会実験からの推計で得られた車両や作業員の不足、安定した業務の履行等の課題を解決するため、民間活力の活用の検討が必要だと考えております。	工 その他
20	収集体制の方向性に関する こと	収集業務課職員は、ここ何年も採用がない状態が続いています。このまま将来に向けて採用をせず、なし崩し的に民間活用というのはあまりにも無策であるので、「収集体制の方向性」を検討するうえで、そのところのロードマップを示しながらどのような収集体制が本当に市民のためになるのかよく検討していただき、考えをお聞かせいただきたい。	本市のごみ収集業務は、「平塚市行財政改革計画(2020 2023)」に基づく取組を進めております。戸別収集の業務委託については、継続的かつ安定的に業務を履行してもらうために、事業者に対して準備期間を設ける必要があると考えます。収集体制については、社会実験の結果等を分析し適切な時期に情報提供等を行っていきたいと考えております。	工 その他
21	今後の取組に関する こと	早期に戸別収集の実施を希望します。 (他同様の意見 1件)	平塚市一般廃棄物処理基本計画及び関連する施策等とともに地勢等を考慮し継続的に改善を図り最適な戸別収集の実現に向けて取り組んでまいります。	ウ 参考
22	今後の取組に関する こと	市全域での一斉導入には、無理があると思いますので、公民館別の対象地区を基本として移行計画を策定すべきかと考えます。	戸別収集の市全域での導入に際しては、中長期的な視点での検討が不可欠であり、課題を着実に解決していくために、移行期間を設定する必要があります。そのため、市全域での一斉導入ではなく、戸別収集エリアを順次に拡大していくことを検討しております。	ウ 参考

23	今後の取組に関すること	<p>街・住宅地の環境をキレイにするため、道路上のごみステーションをなくすことに大賛成です。マンション・分譲地など敷地内にごみステーションが用意されているところは、次回の戸別収集エリアにして1次エリアは次のところが良いのではないのでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．道路上にごみステーションがある 2．住宅密集地 3．老人世帯が多い 4．不法投棄が多い 	<p>戸別収集の市全域での導入に際しては、中長期的な視点での検討が不可欠であり、課題を着実に解決していくために、移行期間を設定する必要があります。そのため、市全域での一斉導入ではなく、戸別収集エリアを順次に拡大していくことを検討しております。</p>	ウ 参考
24	今後の取組に関すること	<p>戸別収集を市全域で一律に導入するのはなぜですか。</p>	<p>戸別収集の導入理由に、自治会によるごみステーションの維持管理が困難になってきたことがあります。また、超高齢社会を迎えるにあたり、ごみステーションまでごみを運ぶことが困難な世帯が増加することが予想されるため、市全域での導入といたしました。</p>	エ その他
25	今後の取組に関すること	<p>戸別収集が必要なエリアとステーション方式のほうが効率的なエリアと分けたほうが良くはないですか。</p>	<p>区画整理事業によって開発された分譲地や比較的大きなマンションやアパート等は、敷地内に専用のごみステーションを設置しているため、戸別収集の対象から除外しております。地勢等を考慮し継続的に改善を図り最適な戸別収集の実現に向けて取り組んでまいります。</p>	ウ 参考

<お問い合わせ先>

平塚市環境部環境政策課

電話：0463-21-9762

電子メール：kankyo-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp